

福島イノベーション・コースト構想に係る人材育成事業

夢に向かって



第1号

令和元年9月号

発行：磐城農業高校

福島イノベーション・コースト構想とは、東日本大震災、原発事故によって大打撃を受けた私たちの住む浜通りの復興のために、国や県、企業が一体となって行っている事業です。廃炉研究やロボット研究等の新たな産業を作り出したり、地域産業に貢献できるリーダーとなる人材の育成をしたりします。

本校の基本方針

地域農業に貢献する自立した人材の育成を目指す

今年度の各科の取組

食品流通科

「循環型農業の研究とバイオマスの発電」

「6次化商品の開発および販売戦略に関する研究」

企業、大学より講師を招き、バイオマスガスの発生や電気への変換・活用に向けた講義や実験を行った。校内でのGAP取得の取り組みや新商品開発、校内の生産物の広報などの取り組みを効果的に広報したりする知識・技術の習得を目指します。



園芸科

「農産物の高付加価値生産に向けての研究」

地域の先進的な植物工場や温室栽培施設の見学と多角的な経営やマーケティングについての学習、フルーツアートなど、消費拡大・6次化へ向けての実習を通して、最先端の農業について知識・技術の習得を目指します。



緑地土木科

「ドローンの操縦技能の習得と利活用の研究」

「室内及び壁面緑化の研究」

「地域活性化のための勿来工業高校との連携」

地域需要の高まっている先端的なドローン技術の学習をします。

首都圏の特殊緑化を見学したり、市内の公共施設の室内緑化の研究を行います。



生活科学科

「農福連携」を推進する人材の育成

農福連携について先進的に取り組んでいる施設で利用者の方と一緒に活動したり、実際に介護現場で活用されている介護ロボットや介護テクノロジーを開発している企業を見学したり、先進的な知識・技術の習得を行います。

※農福連携とは農業と福祉が互いに連携し、障害者や高齢者の農業分野での就労を支援する取り組みの総称。

